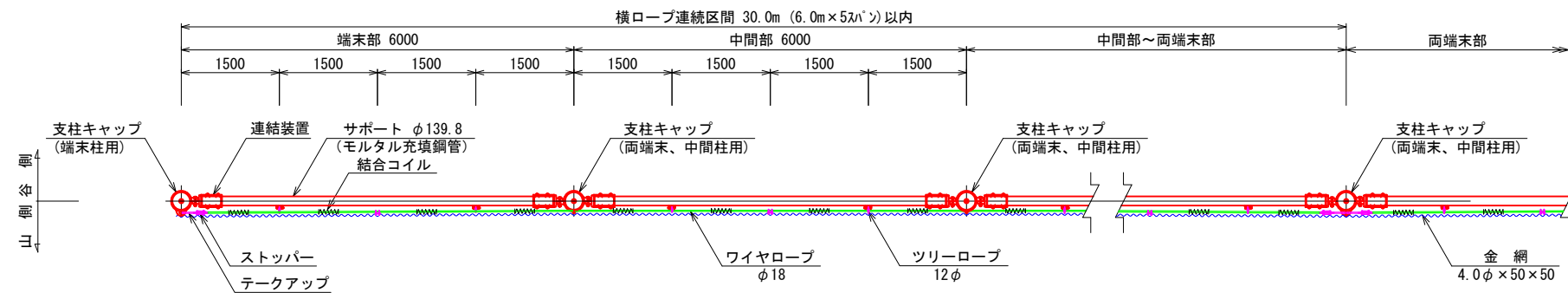


雪崩予防柵一般構造図(2) S=1/50

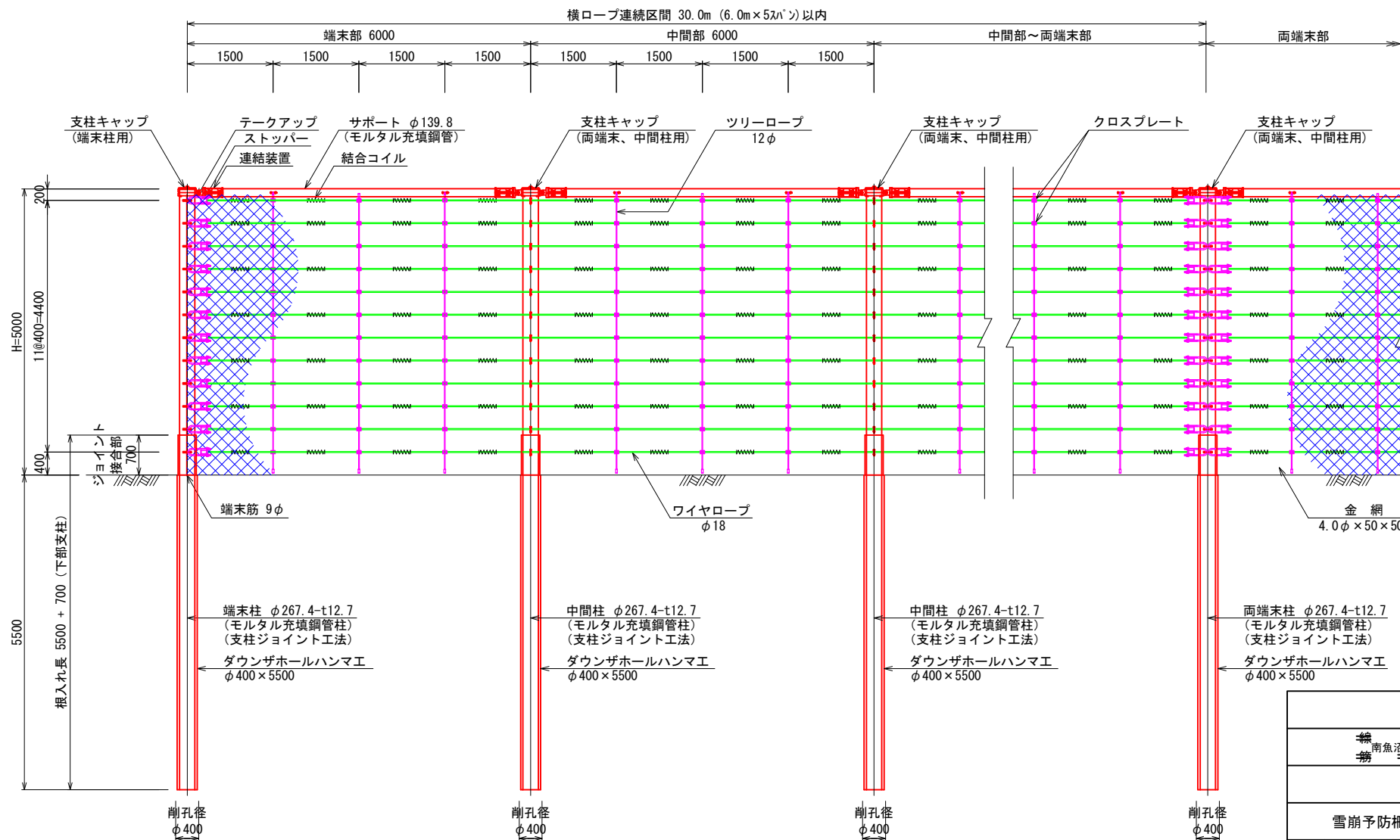
[下段 柵高 : H=5.0m, 根入れ長 : 5.5m]

平面図

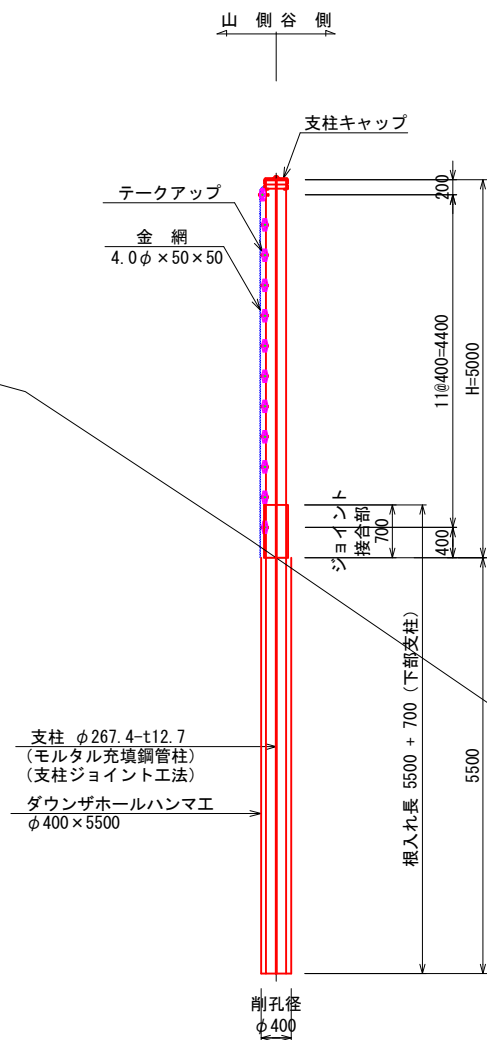


正面図

(山側より)



断面図



- ※1. 支柱設置位置については、現地調査実施時に確認し、必要に応じて調整を行うものとする。
- ※2. 支柱間隔は、地形状況に応じて斜長で管理する必要がある。
- ※3. ダウンザホールハンマエにおいて、削孔後の孔壁崩壊及び湧水が発生する可能性があると判断された場合は、ケーシング(孔壁保護管)が別途必要となる。

南魚沼郡湯沢町大字湯沢地内			
雪崩予防柵一般構造図(2)			
縮尺	1:50	図面全	16 葉の 7
測量		年月日	主任技術者
設計	開発技建株式会社	R4年 1月	主任技術者
南魚沼郡湯沢町			